平成23年度 第3回行政改革懇話会 議事録要旨

日 時	平成23年11月17日(木) 午前9時30分～11時30分	
場 所	市役所 大会議室	
出席者	委 員	田村脩会長、船尾恭代副会長、荻野留美子委員、加藤勝美委員、甲原寛士委員、金原建和委員、東野惣一郎委員、東峰直子委員、松本憲久委員
	事務局	新井副市長、企画部長、行革・政策監、経営管理課長、経営管理係長、担当、人事課長、企画政策課長
次 第	1 市民憲章唱和 2 会長あいさつ 3 議題 第5次行政改革大綱アクションプランの平成23年度中間報告について 4 その他 市長マニフェストの外部評価について	

1 市民憲章唱和

2 会長あいさつ

3 議題

第5次行政改革大綱アクションプランの平成23年度中間報告について
(事務局説明)

第5次行政改革大綱及びアクションプランは今年度策定し、アクションプランについては、5つの重点項目に基づき55のプランがあります。今後5年間、目標達成に向けて取り組んでいきます。

本日は、事前に送付させていただきました、「第5次行政改革大綱アクションプラン平成23年度中間報告」について、5つの重点項目を1項目ずつ説明申し上げ、質疑応答をしていきたいと思っております。なお、時間の都合もありますので、全プランを説明するのではなく、主なプランのみ説明してきたいと思います。

それでは、1つ目の重点項目である「市民参加と協働の推進」について説明させていただきます。

分類番号1-(1)-2の「市民参加を促進するための仕組みづくり」について、23年度の活動計画は、市民参加推進評議会を開催し、市民参加の実施状況等を報告する、7月までに市民参加条例について職員向けの研修を実施する、市民向けに市民参加条例のリーフレットを作成し啓発に努める、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、6月に市民参加推進評議会を開催し、

市民参加の実施状況等を報告し、市公式ウェブサイトで公表しました。7月に職員を対象とした市民参加条例の研修をしました。また、市民参加条例のリーフレット作成のため、実行委員会を開催しました。下半期の取組としては、市民参加条例のリーフレットを作成し、交流センターまつり等で市民に啓発していく、審議会等の委員を選任する場合には、公募による市民を含めるように主管課に促進の依頼をしていく予定です。

分類番号1-(2)-2の「行政と市民活動団体との協働の推進」について、23年度の活動計画は、市民とのワークショップによる協働の指針づくりを進める、市民協働に関するアンケートを実施する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、市民会議（あんねっと）を6回開催しました。無作為抽出した市民2000人に対し市民協働に関するアンケートを実施しました。下半期の取組としては、市民会議において、協働に関する指針素案をまとめる、協働に関する指針策定審議会において、協働に関する指針を審議する予定です。

分類番号1-(2)-4の「我が町を守る中学生防災隊の結成」について、当初23年度の計画は、中学生防災隊の導入を検討することでしたが、計画を前倒しして明祥中学校区に1つ結成しました。上半期は、防災講演会に参加するなどの活動を行いました。引き続き、下半期も福祉まつりに参加するなど活動を行い、3月に成果報告会を行う予定です。

分類番号1-(2)-5の「要援護高齢者地域見守り体制の整備」について、23年度の活動計画は、4福祉委員会を選定し、その町内における見守り体制を構築するとともに他地区に展開するためのノウハウを取得するという計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、北山崎、御幸、古井住宅、堀内の4福祉委員会を選定し、活動を開始しました。外部講師による勉強会を経た後、災害時要援護者支援制度登録者を始め地域住民が見守る対象者の確認と見守り方法の検討を進めました。下半期の取組としては、4福祉委員会とも継続して活動し、地域支援者の選定と非常時の連絡系統を作成する、2月を目途に今年度の取組から得られたノウハウを社会福祉協議会で集約し、次年度の参考とする、2月から3月にかけて活動発表会を開催する予定です。

分類番号1-(2)-7の「明治用水緑道への新たな街路樹愛護会の設立」について、23年度の活動計画は、22年度施工の新設緑道や愛護会のない路線の町内会等に声かけを行い募集に努めるという計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、町内会等に声かけを行った結果、4か所の申込みがありました。

た。5年間で4か所増やすという目標を今年度で達成したことになります。下半期の取組としては、上半期の活動を継続して行い、愛護会の増加に努めます。

分類番号1-(2)-9の「地域住民の自発的なスポーツ活動の推進」について、23年度の活動計画は、総合型地域スポーツクラブ調査研究会において各地区の課題を整理し、育成モデル地区の候補を選定する、講師を招いて学習会を開催したり、地元町内会、スポーツクラブ等への説明会を開催し、育成モデル地区を1つ指定する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、比較的大きなスポーツ施設のある地区公民館を中心に活動しているクラブの様子など、活動状況や地区での課題の把握に努めました。6月に総合型地域スポーツクラブ調査研究会において、講師を招いて学習会を開催しました。下半期の取組としては、総合型スポーツクラブの知識と必要性が、各地区の体育指導委員会の中で認識が低い状況がうかがえるので、地区公民館での活動状況を把握しつつ、引き続き学習会を開催することでモデル地区1つを選定していく予定です。

(質疑応答)

・委員

「市民参加と協働の推進」については、組織を作っていくというプランがいくつかあり、組織の数などが成果目標になっているわけで、数だけでいいという訳でなく、中身が伴わないと本末転倒であって、実数でやってほしいと思います。では、実数というのをどのように判断したら良いかという、やはり、組織を作った人たちの声というか、アンケートなどを行う必要があるのかなと思います。本当に市民のニーズに合った組織作りができていないかどうか、結果的に数が達成できているから良いということではまずいかなと思います。年度ごとにアンケートをとって、その結果の中で、組織作りが違うなと思って、次年度少し方向性を変えて、中身について検討したので数が増えなかったということならば、組織作りについて十分評価されるのではないかと思います。

・事務局

言われるとおり、数だけで満足しているようではいけないので、中身を伴うような体制をとることが大事だと思います。そういった部分も踏まえながらアクションプランを進めていけたら良いと思います。

・委員

分類番号1-(2)-4の「我が町を守る中学生防災隊の結成」について、平

成23年度は、導入の検討だったのが、計画を前倒しして1校実現したことは大変素晴らしいことで、前向きに取り組んだ結果だと思います。明祥中学校区に設置したということで、実は私、中学校PTAの役員をやっていて、関心があるのですが、このように素晴らしいことがあるなら、私の地区にも繋げられたらと思っています。

これは、どこが主導で取り組んでいるのか。NPO等の協働によりと書かれています。分かったら教えてほしいのですが。学校主導ではないですね。外部の団体が主導で行っているのでしょうか。

・事務局

今、防災の関係が非常に重要であって、実際災害があったときに、高齢者やひとり暮らしの人を助ける人がいない、即戦力になる人が必要だということで、中学生の協力も必要ではないか、子どもの頃から防災に対する意識を高めるなど様々な観点から、中学生にも防災の一面も担っていただきたいということで、市の防災危機管理課の方でNPOと一緒に中學校に働きかけています。今は、明祥中学校が取り組んでいて、かなり良い成果をあげており、今後、このペースで進めて行くかはわかりませんが、学校の受入れ、NPOとの協力体制の中で、防災の意識が高まっていることもあるので、主管課も前倒しができるなら、前倒しもしたいと思います。

・委員

私も自主防災会の会長であり、震災が起こった時に、中学生なら一番体力があり、頼りになると思っています。しかし、校長先生の温度差もあり、受験だとか勉強だとかで、なかなか手が上がらないのが実態だと思います。先週、愛知県の防災フェアがあり、その前に審議会があって、県知事が会長で、その会の中では、防災の担い手を育成する協議会を設立するということでした。県でも各地区に助成をしてくれないと、ただやれやれと言うだけではできないわけで、今後、県も考えてくれると思いますが、やはり次の担い手というのが課題であって、このプランはぜひ進めていっていただいて、できれば8校全部できればいいなと思います。

・委員

今も校長先生の温度差ということがありましたが、なかなか忙しくて先生たちも踏ん切りがつかないところがあると思います。PTAの役員をやられているのであれば、PTAの役員として校長先生にお話をいただくと、動いていた

だけるのではないかなと、またすごく後押しになるのではないかと、特にPTAの役員が言ってくださったら大きな力になると思います。

また、分類番号1-(2)-6の「市民農園運営組織のネットワーク化の構築」について、ネットワーク化が必要であるとはどういうことか、なぜネットワーク化をしようと思ったのか教えていただきたいです。

・委員

先ほどの中学生防災隊の件で、先に言わせていただきたいのですが、学校の組織として防災に取り組むということは、まだ主要にはなっていないと思いますが、地域と連携していくという流れはあります。篠目中学校では地域の夏祭りがかなり大規模に行われていて、そこに中学生がボランティアで参加している。中学生が地域に出ていくという動きは、篠目中学校だけでなく、されていると思います。中学生の時にボランティアで参加して、卒業して大きくなったら今度はスタッフになってそのお祭りを支えている。防災に関しても、中学生で防災に携わることで、社会人になっても地域の防災に関心を持つようになる、そういう動きになっていくのではないかと思います。

・事務局

市民農園運営組織のネットワーク化について、それぞれがばらばらで運営しているので、みんなで顔をあわせてお話をすれば、全体としてより良くなるというということで、このプランができたのだと思います。

・委員

それは、ここに書かれているもので読み取れるのですが、ばらばらでやっていて低迷しているよだとか、始めたけどうまくいっていないところがあるよという問題があるのか、独自の手法で自分の思いでやっている人と、土地が空いているので貸してあげようかという人と、非常に温度差があると思う。そういった人たちをネットワーク化することでどのような効果が上がるのか、困っている人がいるのでネットワーク化することでうまくいくようになるのか、そのあたりを聞きたいのですが。非常に思いがあってやる人と、土地があるからやる人と思いが違うと思うので、彼らがどう望んでいるかを伺ったうえでネットワーク化を進めているのかお聞きしたいと思います。

・事務局

詳細については主管課でないとわからないので、十分なお答えになるかわかりませんが、市内には4園ほど市民農園があって、市の補助金を出してやっ

す。技術指導はできると思いますが、経営的なことについては、なかなか熟知していないものですから、それぞれ情報交換をしながら市民農園のニーズだとかサービスを高めていこうということで協働のイベントで即売会をやってみようだとか、個々の市民農園の力ではなく協働することによって市民農園を皆様に広めていただけるような未来志向のテーマというように考えていただければと思います。

・委員

私のまわりを見ると、個人的に土地を貸している人たちをたくさん見るが、そういう人たちをネットワーク化するのではなく市の補助金が出ているところが対象ということですか。

・事務局

そういうことであります。

・委員

そういうふうに補助金をもらってきちんと運営できるところを増やしていきたいということですか。

・事務局

補助金をもらわなくても独自でやっていただければ良いが、いわゆる自分の土地を市民に貸す、また地区で分割しながら市民に貸す市民農園を増やしていきたいということです。

・委員

説明を聞いていると計画に対して、実施したという報告で終わっているのですが。例えば先ほどの中学生の防災隊について、1校前倒しで設置したということは評価でいえばマルなのですが、実際議論になっていくと中学校によって温度差があると。これは課題なので、何か実施したことに対する課題だとか苦労だとかをお話いただいた方がこの会の意義が上がるのではないかという気がします。分類番号1-(2)-2の「行政と市民活動団体との協働の推進」で、アンケート調査を実施したとあるが、その結果もわれわれ知りたいなと思いますし、一生懸命やっていることはわかるのですが、そこから何か見えてきたものもお話していただくと有意義かなと思います。

・事務局

今回は中間報告なので、1年終わった段階で未達成なものだとか前倒しのもの、課題があるものについて個々にわかりやすくまとめていきたいと思います。

・会長

1つ目の重点項目はここで終了としまして、続いて2つ目の重点項目「質の高い市民サービスの向上」について事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

分類番号2-(1)-1の「庁舎案内の充実」について、23年度の活動計画は、9月までに目隠し衝立の材料の調査をする、同じく9月に課名の翻訳を依頼する、10月末までに各課に目隠し衝立の必要数、業務案内表示の記載内容の調査をする、1月までに目隠し衝立を作成して配布する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、6月に目隠し衝立の材料を調査しました。

9月に課名の翻訳を依頼しました。下半期の取組としては、課名の翻訳について特定の言語2つを表示することは差別にあたる場合があり、外国人との共生を考えるとひらがなで課名表記を加えた方が良いと提案があったので調整する、10月末までに各課に目隠し衝立の必要数、業務案内表示の内容を調査し、3月までに設置する、3月までに課名表示板を設置する予定です。

分類番号2-(1)-4の「園児への保健・栄養指導の充実」について、23年度の活動計画は、12園実施していく計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、園長会で健康教育の案内をして、食育指導5園、歯みがき指導4園実施しました。下半期の取組としては、食育指導は継続して実施していく、冬のインフルエンザなどが流行する時期に合わせて手洗い指導を実施していく、未実施の園にPRする、アンケートを実施して今後の改善に繋げる、ことを予定しています。

分類番号2-(2)-1の「電子申請の拡充」について、23年度の活動計画は、文化センターの電子予約を開始する、順次、各施設を調査し、年度内に24、25年度の候補施設を選定する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、10月から開始する文化センターのシステムセットアップ等の準備をしました。青少年の家、市民交流センターの聞き取り調査を行いました。下半期の取組としては、市民が有料利用する施設について、順次聞き取り調査を行い、24年度、25年度の候補施設を選定していきます。

(質疑応答)

・委員

分類番号2-(2)-1の「電子申請の拡充」で、私も仕事柄、文化センターなどいろいろな会議室を使うことがありますが、10月1日から文化センターも

電子予約が導入され、早速使わせてもらいましたが、まず1度、文化センターに行って電子予約のための登録をしないといけない。そこで仮予約をして、また1度帰ってきて今度はお金を払いにいかないといけない。2度も3度も足を運ばないといけないということで、インターネットで予約ができるなら、お金の支払いもできるようになれば足を運ばずに済むのかなと思います。できればその辺の改善をお願いします。それから、よく1時から使わせてくださいということで申し込むのですが、1時から会議を行いますとあって、その前に準備をさせてほしい場合でも、1時からでしか貸していただけないとか5分前でないと貸していただけないとか、そういったことがありますので、そのへんをもう少し流動的に考えていただければと思います。

- ・委員

使っていなければ、鍵を早く貸してくれても良いではないかと思うのですが。

- ・委員

準備が必要なら12時30分から予約すれば良いのですよ。

- ・委員

午後の時間は1時からしか予約が取れないのですよ。

- ・事務局

予約の取り方の変更について検討が必要かと思います。

- ・委員

午後の時間は12時30分からにしていれば良いと思います。

- ・委員

交流センターをよく使いますが、交流センターの場合だと、午前中12時までの人たちは1時まで延長ができるが、午後の場合は1時からでないと借りられないのです。ですから、午後からのときは、5分、10分会場設営の時間を入れてから会合を始めます。1時30分から始めるとか1時15分から始めるなどしています。交流センターの場合は、多少流動性があるって、空いていれば会場を開けてくれることもあるのですが、ダメと言われる会場もあります。その辺は管理者の思いだと思いますが、やはり利用者としては空いていれば早めに借りたいなと思います。

- ・会長

これらの問題は電子申請の拡充の内容から少し拡大していますが、このプランから波及してきた問題なので今後考えていってください。

- ・委員

電子申請の場合は早い者順になるのでしょうか。3か月前に会場予約ができるということで、今までは、月初めに予約が集まって同じ日に希望が重なった場合、話し合いをしたり、ジャンケンをしたりして調整をするのですが、電子申請になると調整ができないので、早く送信した者が優先されるのかということが知りたいです。今すぐにではなく後で良いので教えていただけたらと思います。

- ・事務局

先ほどの施設予約の件ですが、1時30分から会議を始めるというわけにはいかないのでしょうか。

- ・委員

時間の関係で早く会議を終わりたい場合もあります。

- ・委員

どうしても1時から3時で行いたい場合もありますよね。

- ・事務局

わかりました。

- ・会長

2つ目の重点項目についてはここで終了とします。続いて3つ目の重点項目「行政情報の共有化」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

分類番号3-(1)-1の「eモニター制度の導入」について、23年度の活動計画は、運営方法や利用するシステムを調査・検討し、24年度試行に向けて準備をする、実施に向けて必要な予算額を検討する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、実施市である豊田市を視察し、千葉市、市原市を調査しました。また、ホームページ作業部会で検討していくことにしました。下半期の取組としては、調査結果を踏まえ、ホームページ作業部会で実施方法を協議していきます。

分類番号3-(2)-2の「市道地図情報のウェブサービス」について、23年度の活動計画は、市道地図情報ウェブサービスのシステム内容について、同様なサービスを既に導入している課を参考にする、先進市のシステムについて情報収集する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、同様なサービスを既に導入している都市計画課の都市計画情報サービスについて調査しました。ホームページを活用し、各市の情報提供内容を調査開始しました。下半

期の取組としては、来年度システム導入に向けて、市道地図情報ウェブサービスの提供内容等を検討し、システム構築を進めていきます。

分類番号3-(2)-4の「市政情報コーナーの利用拡大」について、23年度の活動計画は、場所・あり方・レイアウトの検討、閲覧資料・サービスの検討、各課との調整、刷新案の作成、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、場所・あり方の検討をしました。現在の場所は利便が悪く、利用は減少傾向にあるが、庁内に十分で適当な場所がなく、設置場所の選定が進んでいない状況です。下半期の取組としては、庁内の利便性の高い場所では十分なスペースが確保できないため、コーナーの機能を集約した設置案を作成するとともに、現状の場所での有効な案内や誘導、情報提供の手法を検討していきます。

(質疑応答)

・委員

分類番号3-(2)-4の「市政情報コーナーの利用拡大」について、市政情報コーナーが3階にあるのを知らなかったのですが、このことは安城市として情報公開をする姿勢があるのかどうかで、市民が入りやすい場所にあるべきではないかなと思います。その辺で情報公開をする市の姿勢が問われるのではないかなと思いました。

・委員

私は時々市政情報コーナーに資料を見に行ったり、もらいに行ったりするのですが、椅子などが置いてあっても、それをどのように使えば良いのか、市民が活用しても良いものなのか、どのように活用できるのか分かるように説明書きがあると良いかなと思います。市政情報コーナーで待ち合わせした時も、勉強しながら立っていましたので使い方が書いてあると良いかなと思いました。

・事務局

市政情報コーナーには4人がけの机が2つあります。その机というのは資料を閲覧するためのものですから待ち合わせ場所ではありません。待ち合わせするときは、隣に応接コーナーがありますので、そこで待ち合わせしていただくのは良いかなと思います。

・委員

私はこのような情報コーナーがあること自体知らなかったのですが、利用者数を増やすという目標に疑問を感じていて、別に増やさなくても、もっとホームペ

ージで情報提供するとか、実際、適当な場所がないということで苦労しているのだから、情報公開を別のかたちで充実させることを考えると良いのではないかと思います。

- ・事務局

数を多くすることが目的ではないと思っています。市政の情報を皆様にいかに提供していくことが目的だと思っていますので、これからの進め方の中で、コーナーのあり方も含めて考えていきたいと、利用者数の目標が書いてありますが、そこにはこだわらずにいきたいと思っています。

- ・委員

電子の情報を得られない人たちのために紙媒体の情報も必要だということで、情報コーナーを置きましょうと。ただし、場所はもう少し便利な場所におきましょうということでこのプランができたのだと思います。

- ・事務局

やはり、もっと市民の方が入りやすい場所が必要だと思います。

- ・委員

行政情報の共有化ということは、市民目線の共有化ということで、そのために何をするのかを考えていただいてやっていくことが大事なことだと思います。何かを設置したとか何かあるとかではなくて。市民の方もそういう意識を持たなければいけないが、職員全体がそのような認識を持つ必要があるのではないかと。情報提供には限度があって言えない情報もあるが、やはり情報の共有化には、市民目線がないといけないのではないかと思います。

- ・委員

分類番号3-(1)-2の「市公式ウェブサイト望遠鏡へのモニター導入」について、申請書類を探し出すのに、以前はすぐに見つけたが、ホームページのかたちが変わったことによって探しにくくなってしまった。わかりやすくすることを常に考えていって、半年に1回、1年に1回など、もう少し流動的に変えていってもらえるとありがたいと思います。

- ・事務局

使いやすくなくては意味がないので、常にその視点に立って検討しているものの、いろいろな意見をお聞かせいただき、良いものにしていきたいと思っています。

- ・会長

3つ目の重点項目についてはここで終了とします。続いて4つ目の重点項目「自

立的な経営基盤の確保」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

分類番号4-(1)-1の「広告事業の推進」について、23年度の活動計画は、窓口封筒、広報あんじょう保存用ファイル、使用水量のお知らせの広告募集をそれぞれ行う、その他広告媒体を検討していく、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、窓口封筒について、平成24年1月からの募集を8月に行い、決定しました。削減額は23万円であります。ウェブサイトのバナー広告については、9月30日までで25業者掲載しており、広告掲載料は244万円であります。広報あんじょうの保存用ファイルは8月に募集し、決定しました。削減額は、広告料24万円とファイル作成費用相当額136万円を合わせた160万円でした。10月から3月までの使用水量のお知らせについては、5月に募集を行い、決定しました。削減額は12万5千円でした。下半期の取組としては、平成24年4月から使用水量のお知らせに掲載する広告の募集を行う、その他広告媒体を検討するため、各課に調査を行う予定です。

分類番号4-(1)-3の「西三河地方税滞納整理機構設立等による安定的な自主財源確保」について、23年度の活動計画は、機構を4月に設立、運営委員会を4回開催、24年度委託事案の選定、インターネット公売を2回実施する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、4月に機構を設立し、運営委員会を5月と7月に開催しました。滞納整理を委託した件数は110件です。機構における収納率は13.7%でした。また、インターネット公売を1件実施しました。市税滞納繰越全体での収納率は10.85%でした。下半期の取組としては、平成24年度機構への委託者の1次選定、財産調査、最終決定をします。また、インターネット公売を11月と2月に予定しています。

分類番号4-(2)-3の「新たな人事評価システムの導入」について、23年度の活動計画は、9月末までに人事評価制度の全庁研修を行い、10月から全庁で試行する計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、制度設計に携わった外部講師を招き職員研修を実施しました。下半期の取組としては、研修時に出た質問や提案を基に改善点を精査し、10月から来年3月まで試行する予定です。

(質疑応答)

・委員

分類番号4－(1)－3の「西三河地方税滞納整理機構設立等による安定的な自主財源の確保」について、4月に機構を設立したというのは、西三河で1つ設立したということですか。

・事務局

そうです。地域的には、碧海5市と西尾市で、もうじき幸田町が入ってきます。

・委員

その機構に委託した案件が110件あるということで、どのような選択基準で指定されたのでしょうか。

・事務局

高額滞納者、権利関係が複雑など処理困難者等をお願いしています。

・委員

当初滞納額が2億7千万円で、収納率が13.7%というのは、かなり収納されたということでしょうか。

・事務局

リーマンショック影響から立ち直りつつあるところに東日本大震災があり、円高があり、タイの洪水の影響もありますので、今年度の19%の目標達成は苦しいと担当者は言っていました。

・委員

せっかく機構を設立したのであれば、何か違うことをしていってもらわないと意味がないと思います。

・事務局

この機構には、6市から職員が1人ずつ、県の徴収部門の職員2人で計8人いて、県というのは、徴収部門なら徴収部門にずっと配属されていてノウハウがあるので、県の職員の指導を受けながらやっています。また、地方税滞納整理機構というと何か大そうなところが来たなあという印象を与えることができますし、一応、この機構というのは3年間の予定ですので、それ以降は検討するのですが、3年で終わってしまうかもしれません。ですから、その3年で各市は県の職員から様々なノウハウを覚えていって、その後に活かしていくということです。

・委員

私も議員をやっていた時に、滞納整理の関係で岡山市を調査してきました。やはり、市が徴収に行くと市民に対していろいろな関係があって難しいところもあるとのことでした。

・会長

4つ目の重点項目についてはここで終了とします。続いて5つ目の重点項目「コスト・成果を重視する行政経営」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

(事務局説明)

分類番号5－(1)－1の「事業仕分けの導入」について、8月20日、21日に事業仕分けを実施しました。下半期の取組としては、事業仕分けの判定結果に対する市の方針案を策定し、10月に開催する第3回事業仕分け委員会で審議し、意見書としてまとめたものを11月の第4回事業仕分け委員会で市長へ報告します。そして、来年度当初予算公表時期に合わせて、最終的に市の今後の取組として公表します。

分類番号5－(2)－2の「外郭団体の経営改善の方針及び経営改善計画の策定」について、23年度の活動計画は、外郭団体の経営改善方針の策定をしていきます。その計画に対する上半期の活動実績として、先進市の状況を調査しました。下半期の取組としては、方針策定の対象とすべき外郭団体の基準を定めます。さらに外郭団体への人的、財政的関与の見直しなど市が取り組む事項と財政の健全化、組織の見直しなど外郭団体に取り組む事項などを関係課と協議しながら改善方針としてまとめていきます。

分類番号5－(2)－6の「公用車管理の見直し」について、23年度の活動計画は、本庁車74台のうち26台を一元管理する、一元管理車26台のうち2台を削減する、24年度の一元管理車を30台目標に調整する、という計画です。その計画に対する上半期の活動実績として、26台を一元管理して、その内の1台を削減しました。下半期の取組としては、2台の削減を行います。平成24年度一元管理台数30台を目標に、稼働率の低い庁車について各課と調整していきます。

分類番号5－(2)－11の「医療機関からの各検診結果の電子データ化」について、23年度の活動計画は、医療機関での検診結果管理状況調査、個人医院でデータ提供が可能であるか調査、検診データ形式、データ項目の調査、システム改修検討及び費用の積算であります。その計画に対する上半期の活動実績として、更生病院、八千代病院、三河安城クリニックにデータ項目、形式を確認し、提供データのフォーマットは同形式で提供可能であると回答を得たため、3医療機関のみ先行して保健衛生システムへ取り込むことについて8月から検討してい

ます。医師会へは検診結果のデータ化について7月に説明を行いました。個人医院は検体検査を外注しているため検査機関へのデータ作成委託が適当であるという回答を得ています。下半期の取組としては、3医療機関について、保健衛生システムへの取り込みを先行するべきか、更に検討していきます。個人医院の検診結果については、検体検査機関へデータ作成委託の検討、委託費用の調査を行っていきます。

分類番号5-(2)-15の「創意と工夫の継続実施」について、23年度の活動計画は、経営管理課が実施している職員提案制度を活用し、広く職員から提案してもらう計画であります。その計画に対する上半期の活動実績として、24年度予算編成方針において、昨年度の削減額を上回るよう積極的に取り組むこととしました。職員提案の特別提案として「創意と工夫」を導入し、39件提出されました。各課2つ以上の「創意と工夫」を提出させることとし、来年度予算に反映させていきます。歳入確保にも積極的に取り組むよう「創意と工夫」の様式に歳入確保策欄を設ける予定です。

(質疑応答)

・委員

分類番号5-(2)-11の「医療機関からの各検診結果の電子データ化」について、個人情報インターネット上に載せてしまうと、データを盗まれてしまうので、そのようなセキュリティの部分について気をつけないといけないのかなと思います。

・事務局

検診結果の電子データがインターネットを通して市にくるということではありません。医療機関から電子データをCDなどでもらって、市のシステムに取り込むということになります。

・会長

5つ目の重点項目についてはここで終了とします。全体を通じて何か質問等ありましたらお願いします。

・委員

事業仕分けをやってみてどうでしたか。

・事務局

公開の場で市民の目で判定いただいたことは、新しい取組で良かったと思いま

す。大切なのは、皆様にいただいた意見を当初予算にどう活かしていくか、良い意見もあれば、なかなか難しいなという意見もありますが、それらの意見を行政として、どのように活かしていくかがこれからの課題だと思います。事業仕分けの結果どうなったかというのは当初予算の中ではっきり出てきます。

・委員

交通指導員について、毎月0の日に街頭に立つだけで年間7万円も払うのかという意見もあって、それで廃止してしまう。交通指導員というのは、毎月0の日に街頭に立つだけではなく、各町内会の行事にも参加してもらっている。内情を知った人が仕分け人をやるのならわかるけど、その事業をいままでやってきた経緯というものがあるわけだから、それを仕分けるといえるのはどうなのかなと思う。

・事務局

今回の事業仕分けの結果で、新たなかたちで進めていくものや削減するものなどいろいろあります。市民判定人の中でわかってみえる方もいれば、なかなか馴染みのない方もいたと思いますが、当事者ではない方の視点ということもあり、いろいろな意見がありますので、いままでの経緯も含めて、どのようなかたちでやっていくのが良いのか、もう少し時間をいただいて当初予算に反映していきたいと思います。

・委員

判定の結果がそのまま反映されるのではなく、決定事項ではないと思います。見直す良いきっかけになっているのかなと。見直すきっかけというのが事業仕分けの大事な部分だと思います。

・委員

私も事業仕分けを聞きに行きましたが、中心市街地活性化推進事業についても、仕分け人が言うのと、我々が実際にやっていることは大分違います。その意見をどのように活かしていくかであって、内輪の理論だけではいけないので、どのように現場に取り入れていくかが大事なことだと思います。

・会長

全体の質疑応答は以上としますが、先ほども意見がありましたが、プランの検証をすることが大事であるということで、年度実績の時には、しっかり検証して踏み込んでいってもらいたいと思います。我々もしっかりと取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願いします。

これをもちまして、本日の議題を終了したいと思います。

4 その他

(企画政策課長より市長マニフェストについて説明)

前回の懇話会において皆様にお願ひさせていただきました市長マニフェストの外部評価につきまして、そのベースとなります「市長マニフェスト」、「市長マニフェストの進捗状況」について説明させていただきます。

まず始めに市長マニフェストの内容について説明させていただきますので、「資料1」の「市長マニフェスト（3期目）」をご覧ください。

今年の2月に行われた安城市長選挙では、市長マニフェストとして、「健全な財政運営で、産業と暮らしを守ります」を基本理念に「経済対策」を始めとする10分野（大項目）、33項目（小項目）のマニフェストが示されました。

時間の都合もございますので、市長マニフェストの内容について一部抜粋して説明させていただきます。

まず1つ目の分野では、経済対策『減税と公共投資で、新たな産業と雇用を創出』として、4項目ございます。

その中の、「(1) 中小企業の新規投資への減税（償却資産税4年間で1.4億円）で、新たな産業活力の再生を支援します。」

こちらにつきましては、中小企業等が新たに取得する設備投資について、取得後2年度間、償却資産の固定資産税の9.5%を減税することにより、中小企業を応援するものです。すでに市長選後の3月定例会市議会において、設備投資促進条例を制定しておりますので、今後は、制度の周知を行い、対象者の適正な申告を図ってまいります。

2つ目の環境『総合政策による環境首都の実現』では、4項目ございます。

その中の、「(2) 主要駅とその周辺整備による鉄道利用促進とともに、あんくるバスの拡充を図り、公共交通の利用率を高めます。」

こちらにつきましては、主要駅であるJR安城駅、名鉄新安城駅のバリアフリー化を進めるとともに、駅前広場、自由通路など駅周辺整備を行います。また、あんくるバスにつきましては、デマンドバスの導入やダイヤの見直しにより、利便性の向上を図ります。また、利用啓発イベントなどを行い、市民の自動車からの転換を促してまいります。

3つ目の行政改革『広域視点と市民目線、2つの視点で行革を推進』では、3項目ございます。

その中の、「(2) 市長3割・副市長2割・教育長1割の給料引き下げと年俸制の導入。さらに財政バランスを崩した時の職員手当引き下げなど、全職員による危機意識の共有を徹底します。」

今年度につきましては、市長3割、副市長2割、教育長1割を引き下げた額になっております。来年度以降は年俸制を導入して、マニフェストの進捗状況に照らして、減額割合を変更するかどうか市長が判断する仕組みとしますので、マニフェストの進捗状況に対して、委員の皆様からご意見をいただき、判断の材料とさせていただきます。

4つ目の夢・まち『南吉童話の世界をまちづくりに展開』では、3項目ございます。

その中の「(1) 新美南吉生誕100年(平成25年)を機に、子ども図書館の一層の充実を図ります。」

こちらにつきましては、新美南吉絵本大賞を創設し、南吉作品を題材とした創作絵本を全国から公募してまいります。製本した最優秀作品はブックスタートとして0歳児に絵本の読み聞かせをしながら配付させていただきます。24年度に公募と審査を行い、25年度の生誕100年を機に絵本を製本し、ブックスタートを開始したいと考えております。

6つ目の教育『時代に即した学校・生涯学習の環境を充実』では、3項目ございます。

その中の「(2) 老朽校舎・園舎の改修を図り、子どもらの学びの環境充実を進めます。」

まず、小中学校につきましては、老朽化が進む校舎の改修を順次実施してまいります。特にトイレは、生活様式の変化に対応するため、和式から洋式に改修し、バリアフリー化も行います。幼稚園、保育園につきましても、老朽化した園舎を計画的に改修・改築してまいります。いずれにしましても校舎・園舎の改修は財政負担が大きい事業ですので、市長任期の4年間で全ての実施はできませんのでご承知おきいただきたいと思います。

7つ目の高齢者福祉『孤独死を生まない安心社会の確立』では、3項目ございます。

その中の「(1) 高齢者のみ世帯への給食配食サービスを拡充します(週3回から週7回へ)。」

こちらにつきましては、現在は、給食配食サービスの上限が週3回までですが、

給食配食サービスに関するアンケート調査を実施しましたので、その分析と配食の事業者との調整を行い、段階的に回数を増やしていき、最終的に7回に増やしていきたいと考えております。

最後に市民参加『市民が市政に、より参加しやすい環境づくり』では、3項目ございます。

その中の「(3) 市民協働推進条例を制定し、公募提案型の自主活動補助制度を創設します。」

こちらにつきましては、現在、公募市民による市民会議で検討いただいておりますが、24年度中には市民協働推進条例の制定を予定しております。また、公募提案型の補助制度につきましては、趣旨やテーマを決めての公募や市民活動団体からの提案に対する補助など、条例施行後の早い時期に創設に向け、研究を進めております。

続きまして、【資料2】をご覧ください。

【資料2】につきましては、市長マニフェストの進捗状況を取りまとめる様式でございます。こちらを12月下旬にまとめたものを皆様のお手元にご送付いたします。もちろん現時点で「マニフェスト項目」以外の「進捗率」、「平成23年度の主な取組内容」につきましては空欄でございます。年末に向けて、この部分を埋めてまいります。

表の見方をご説明いたします。

10分野の33項目の一つ一つについて、目標達成を100%、進捗状況が高い項目を75%、ほぼ中間程度の進捗状況の項目は50%、事業に着手した状態の項目は25%、事業未着手の項目は0%と表示してまいります。市長の任期が4年でありますので、例えば、4年間のうちの1年が25%ですので、1年目に25%できていれば、順調に進んでいるとお考えいただければ良いと思います。あるいは、制度を作ってしまったということになると、1年目で100%達成となる場合もあります。

12月の時点で23年度末の進捗状況を判断しなければなりません。確定した事業内容もございしますが、実施見込みの部分も含めて進捗状況を判断させていただきますので、ご理解いただきたいと思っております。

この様式で、進捗率、23年度の主な取組内容を記載したものを12月下旬に委員の皆様へ送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。

この様式だけで進捗状況が適正かどうかを判断していただくのは情報が足りな

いかと思いますので、別冊でマニフェストを実現するための各部署の取組み、4年間の年度ごとの計画について、項目ごとにまとめたものを補足資料として提示させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に【資料3】につきましては、19年度から22年度までの2期目の市長マニフェストを総括したものでございますので参考にさせていただきたいと思っております。

2期目の市長マニフェストの進捗状況としましては、最終的に81.5%の進捗率でございました。

(質疑応答)

・委員

12月に資料を送っていただき、その後、最終的にはいつ意見を出していくのですか。

・企画政策課長

資料を12月に送付させていただき、1月20日の懇話会で意見をいただくこととなります。

(企画部長)

他に意見もないようですので、以上で第3回行政改革懇話会を終了させていただきます。